

令和7年度(8年産)ビール大麦等生育概況③

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

調査日：令和8(2026)年3月5日

(調査基準日3月5日)

- ニューサチホゴールド(11月5日播種)の茎立期は、平年より9日早かった。
これは2月下旬以降の高温と降雨により、生育が急速に進んだためと考えられる。
- 出穂期は、今後気温が平年並に推移した場合には、平年より5日早い予想。
- 出穂期に向け赤かび病防除等の準備を進める(適切な時期に殺菌剤を散布する)。
- 引き続き湿害対策としてほ場の排水対策を行う。

1. ニューサチホゴールドの茎立期

農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールドの茎立期は、11月5日播種区では平年より9日早い3月5日(平年値：3月14日)であった。

2. ニューサチホゴールドの出穂期予測

本年産の農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールドの出穂期(3月5日現在、令和7年11月5日播種)について、有効積算温度により出穂期を予測した。その結果、今後気温が平年並に推移した場合は平年より5日早い4月13日(平年値4月18日)、平年+1℃の場合は4月8日(平年-10日)、平年+2℃の場合は4月5日(平年-13日)、平年-1℃の場合は4月18日(平年±0日)、と予測された。

場所	茎立期	出穂期予測				出穂期
	本年	平年-1℃	平年並	平年+1℃	平年+2℃	平年値
農研センター	3/5	4/18	4/13	4/8	4/5	4/18

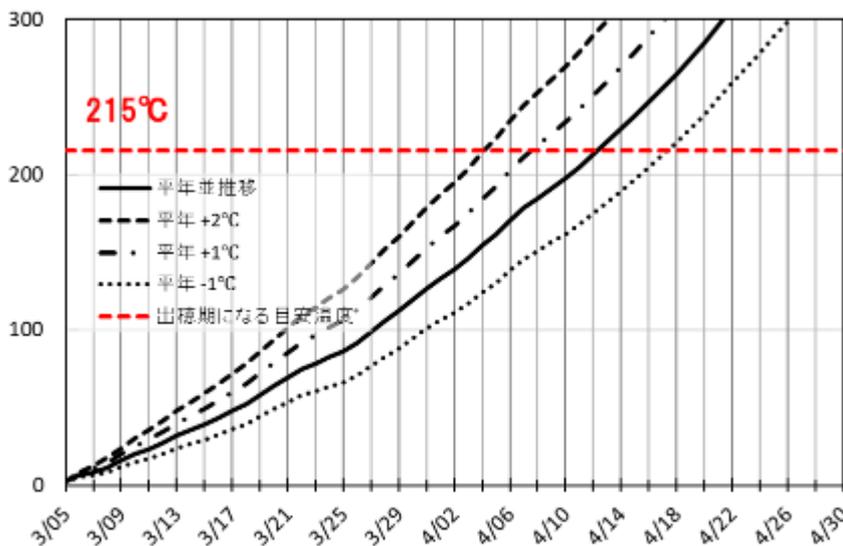


図 ニューサチホゴールドの出穂期予測(農研センター本場)

※有効積算温度=Σ(日平均気温-有効下限温度(4.6℃))

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドにおける茎立期から出穂期までの積算温度で算出した。

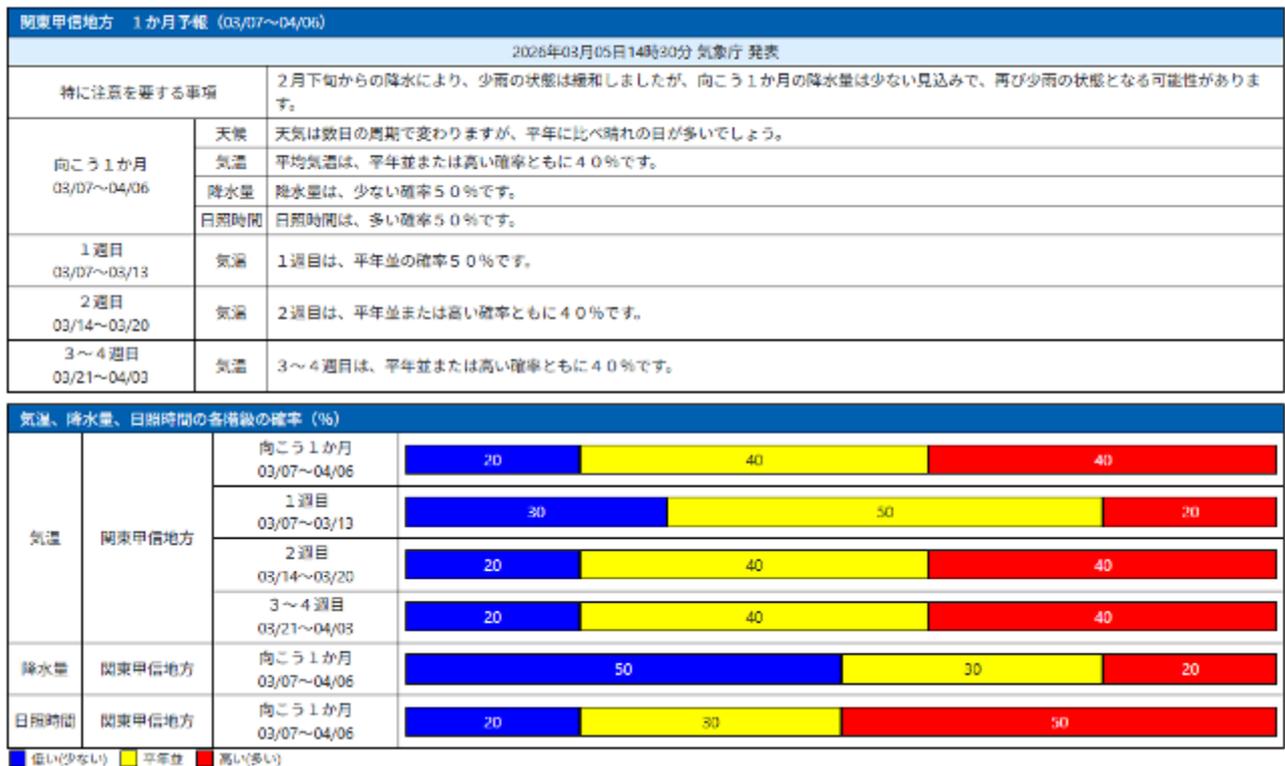
3. 前回調査から今回調査までの気象概況（2月21日～3月5日）

宇都宮市の平均気温は平年より高い9.2℃（平年差+4.0℃）であった。降水量は54mm（平年比180%）と平年より多く、日照時間は平年より短かった（平年比66.6%）。

4. 3月5日の生育概況 農研センター本場(宇都宮市)

農研センター本場（宇都宮市）のニューサチホゴールドの生育は、平年に比べ草丈は135%、茎数は167%であり、葉齢は1.2枚多かった。葉色値（SPAD）は平年比101%であった。幼穂長は215%、幼穂長は162%、幼穂分化程度は「X期」であった。

5. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和7年3月5日発表より引用）



6. 今後の管理

1) 赤かび病防除

今後出穂期に向け赤かび病の防除を進める。**適期を逃さず、殺菌剤を必ず散布する。**二条大麦の赤かび病の防除適期は、**穂揃期 7～10 日後**である。赤かび病多発のおそれがある場合は、1 回目薬剤散布の 7～10 日後を目安に 2 回目の散布を行う。六条大麦は、**開花始と開花 10 日後**に 2 回薬剤散布を行う。小麦は、**開花始と開花 20 日後**に 2 回薬剤散布を行う。六条大麦、小麦とも、赤かび病多発のおそれがある場合は、3 回目の薬剤散布を行う。

麦種ごとの防除適期

麦種	防除適期	多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や登熟期連続降雨など)
二条大麦	穂揃期 7～10 日後(葯殻抽出期)※1	1 回目の 7～10 日後に 2 回散布
六条大麦	開花始 ※2 と開花 10 日後の 2 回散布	3 回目散布
小麦	開花始 ※2 と開花 20 日後の 2 回散布	3 回目散布

※1 **葯殻抽出期**：穎の先端から葯殻(受粉を終えた葯の殻)が押し出されてくる時期

※2 **開花始**：抽出した葯を初めて認めた日

また、二条大麦の赤かび病の発生を助長する要因として、**不稔の発生**がある。不稔発生の気象条件として、

- ① 出穂前 8～10 日ごろの低温 (−1.0～−1.5℃の低温に 3～4 時間遭遇)
- ② 出穂期前後の降霜
- ③ 出穂期前後に 25℃以上の高温に遭遇

などがある。今後の気象状況をよく把握し、必要であれば追加防除を行う。

なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、異なる RAC コードの薬剤をローテーション散布すること。農薬は使用前に必ずラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使用すること。

ご不明点は農業振興事務所 経営普及部又は農業総合研究センター 環境技術指導部までご連絡ください。

県 HP <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kensei/kennososhiki/g/index.html>

2) 排水対策

登熟期の湿害は粒の充実不足を引き起こし収量の低下を招くため、排水溝や明きよの再確認を行う。

表 1. 調査結果

農試本場（宇都宮市）における生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢	葉色 SPAD	正規化植 生指数 NDVI	幼稈長 mm	幼穂長 mm	幼穂 分化程度
ニューサチホ ゴールデン (11/5播種区)	本年	24.0	2707	8.6	42.8	0.75	21.8	5.7	10.0
	前年	16.9	2626	8.1	48.1	0.69	9.2	3.5	9.5
	比・差	142%	103%	+0.5	89%	109%	236%	165%	+0.5
	平年	17.8	1618	7.4	42.2	0.61	10.1	3.5	9.1
	比・差	135%	167%	+1.2	101%	123%	215%	162%	+0.9
ニューサチホ ゴールデン (11/14播種区)	本年	19.6	2110	7.4	44.8	0.71	5.2	2.6	6.5
	前年	12.6	1613	6.5	47.2	0.60	5.4	2.3	9.1
	比・差	155%	131%	+0.9	95%	118%	97%	113%	-2.6
	平年	16.1	1626	7.8	47.6	0.65	7.1	1.4	5.9
	比・差	122%	140%	+0.6	97%	119%	124%	151%	-0.9
シュンライ	本年	15.3	1978	7.7	48.0	0.77	10.3	2.9	8.3
	前年	10.2	1918	7.3	50.1	0.65	4.7	2.1	7.8
	比・差	149%	103%	+0.3	96%	119%	221%	135%	+0.5
	平年	12.9	1258	6.8	47.6	0.60	5.9	2.0	7.2
	比・差	119%	157%	+0.8	101%	127%	173%	144%	+1.1
さとのそら	本年	19.6	2269	8.5	46.2	0.77	8.8	2.1	5.0
	前年	11.9	2086	8.0	43.7	0.68	4.8	1.3	7.0
	比・差	165%	109%	+0.5	106%	113%	183%	170%	-2.0
	平年	16.1	1626	7.8	47.6	0.65	7.1	1.4	5.9
	比・差	122%	140%	+0.6	97%	119%	124%	151%	-0.9

・値を四捨五入したことによって、実際の差と一致しない場合がある。

・平年値：ニューサチホゴールデンは平成 26 年～令和 6 年度（令和 5 年度を除く 10 年間）の平均値。

・その内 NDVI は平成 29 年～令和 6 年（令和 5 年度を除く 7 年間）の平均値。

・シュンライとさとのそらは令和元年～令和 6 年度（令和 5 年度を除く 5 年間）の平均値。

※令和 5 年度産データは播種が例年より約 10 日遅れたため、平年値算出に含めていない。

【耕種概要等】

供試品種：ニューサチホゴールデン、シュンライ、さとのそら

調査方法：ほ場調査（草丈、茎数、葉齢、葉色、NDVI）

抜取調査（幼稈長、幼穂長、幼穂分化程度）

播種期：令和 7 年 11 月 5 日（前年 11 月 8 日・平年 11 月 5 日）、11 月 14 日（ニューサチホゴールデンのみ）

播種量等：条間 22cm のドリル播、播種量 226 粒/m²設定（10a あたり約 9.5kg）

土壌分類：表層多腐植質黒ボク土

施肥：

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	5.0	6.4	5.0	BB ビール麦エース 14-18-14 35.7kg/10a

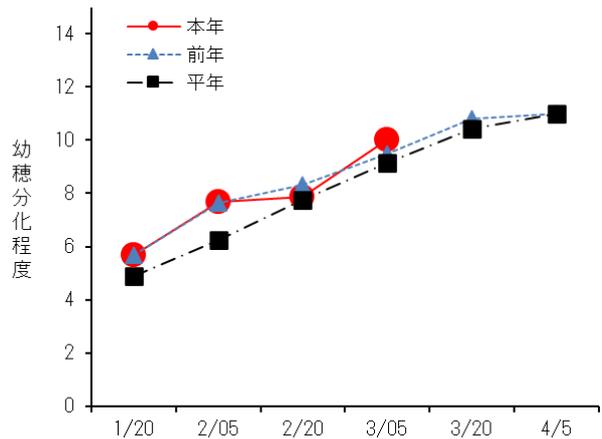
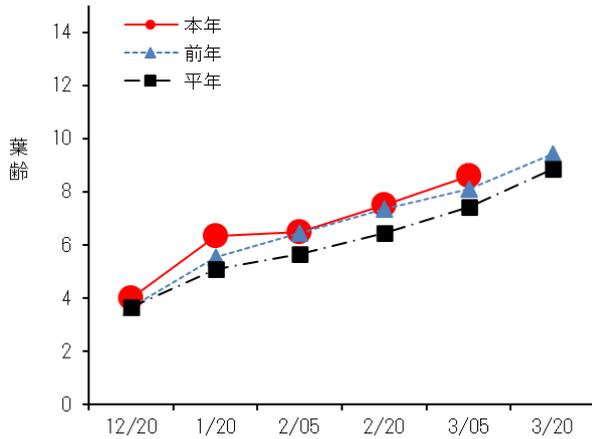
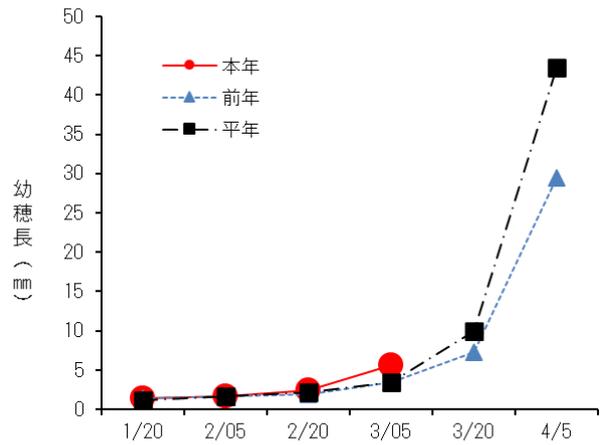
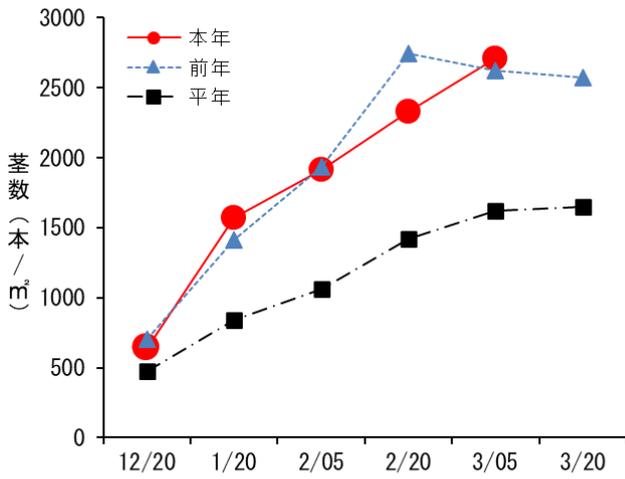
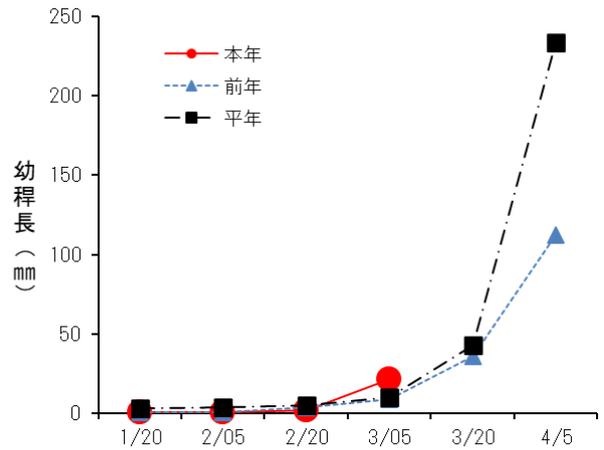
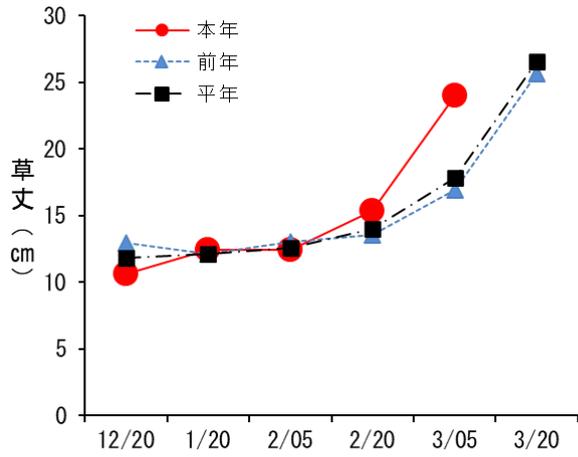
※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥 1.0t/10a を施用

※重焼燐 2 号 280 kg/10a、塩化加里 20 kg/10a を施用

踏圧 11 月 5 日播種区：12 月 2 日、12 月 19 日、1 月 13 日、2 月 13 日

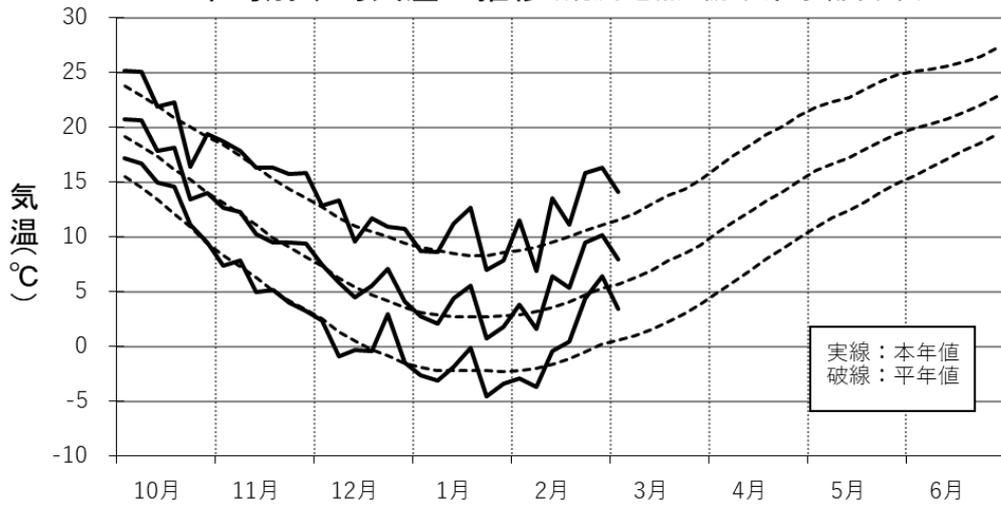
11 月 14 日播種区：1 月 13 日、2 月 13 日

【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農研センター本場、11月5日播種区）】

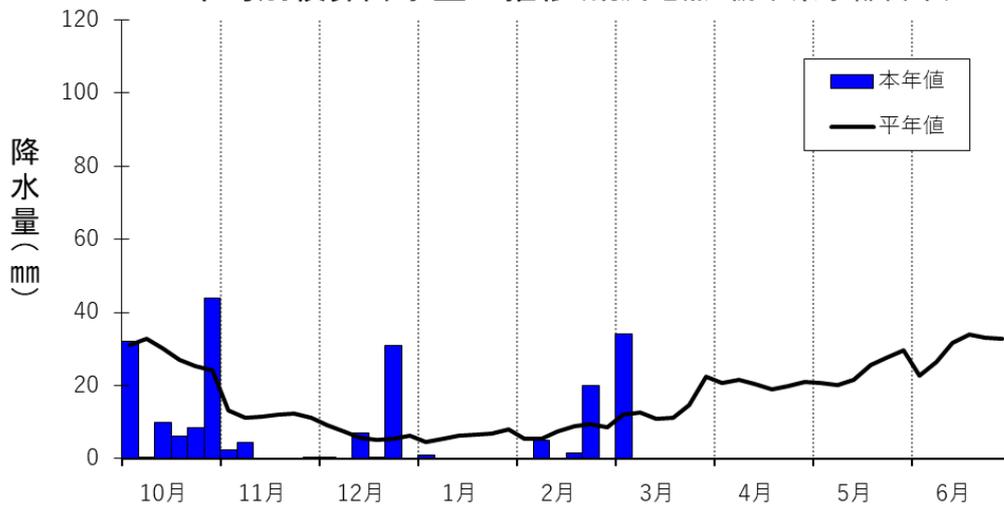


【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

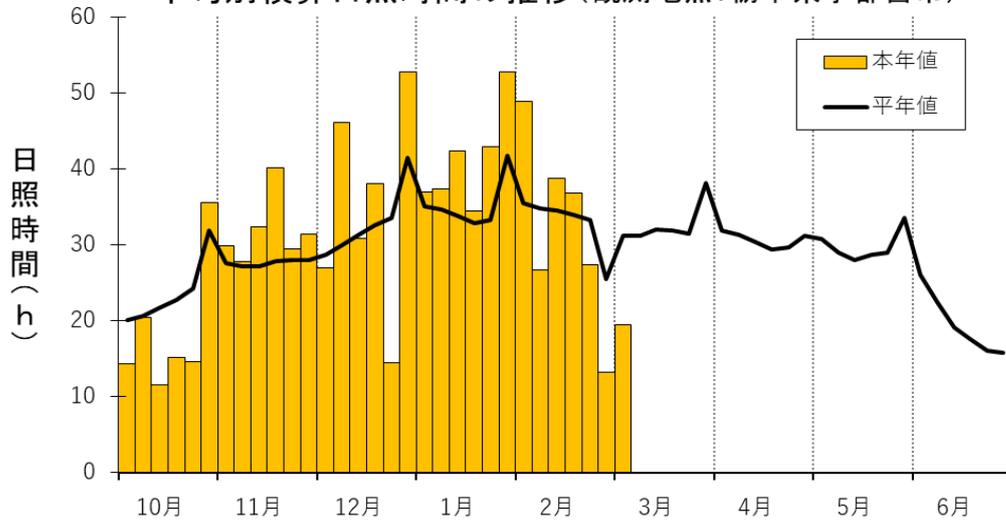




写真1 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2025年11月5日播種 2026年3月5日撮影



写真2 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2025年11月14日播種 2026年3月5日撮影